

現在 ~伊勢から熊野へ~ 熊野古道 伊勢路紀行



現在

~伊勢から熊野へ~

熊野古道

伊勢路紀行

伊勢の国・田丸を出発した西国巡礼の旅人は、和歌山街道に別れを告げ、熊野街道を南下することになる。目指すは熊野那智山、西国三十三所観音巡礼一番札所の青岸渡寺である。紀伊の国熊野へ参るには、紀伊山地の険しく厳しい峠越えの道が待ち受けている。

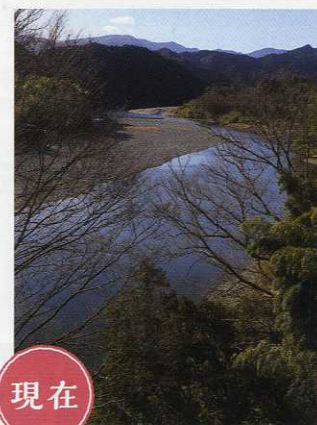
さて、熊野街道に入った旅人が最初に越える峠道が女鬼峠である。嘉永2年(1849)に暁鐘成が著した『西国三十三所名所図会』には、「鳴川村を過てメッキ峠にかかる。上下二十町ばかり平山にして険阻ならず。然れども往来少く道すじさみし」と記されている。和歌山街道のにぎやかさに比べて、熊野街道は往来が随分と少なかったと考えられる。

道はやがて宮川の流れを眺めながら続く。この地域では、古くから河岸段丘の緩傾斜を利用して茶の栽培・生産が行われ、大台茶の銘で伊勢神宮に奉納されている。道と茶畑とが一体となった素晴らしい景観を醸し出している。この宮川は日本でも有数の雨の多い大台ヶ原を源流部にもち、大水害をたびたび引き起こし、地域住民を悩ませてきた。そのため、橋を架けても流失したりするため、対岸への移動手段はもっぱら舟による渡しであった。下三瀬には「三瀬の渡し」と呼ばれる渡し場があり、西国三十三所名所図会には渡しの様子が描かれている。宮川を渡るとつづら折れの坂道が続く三瀬坂峠道にはいる。標高265mの峠越えを終えると、鬱蒼とした木々が生い茂る鎮守の森が遠くに姿を現す。伊勢神宮(内宮)別宮の瀧原宮だ。

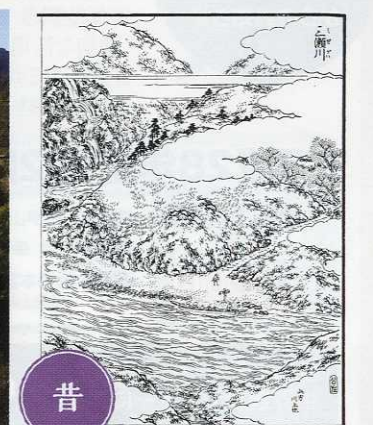
樹齢数百年のスギやヒノキの大木が生い茂り、熊野街道はこの社叢の中を通り抜けている。宿場町の野後(現・滝原)を過ぎると、大内山川を右に左へと渡りながら、道はいよいよ山深い山中へと入っていく。

やがて伊勢から紀伊へと入る国境の荷坂峠にさしかかる。突然、視界が開け補陀洛の海が目に飛び込んでくる。黒潮踊る熊野灘だ。巡礼の旅人にとって至福の光景だったに違いない。寛政8年(1796)2月、越後の紀行作家・鈴木牧之は西国巡礼の途中で「長鳴や世を通れるなら此のあたり」と詠んだのがこの峠道である。

いよいよ道は聖地・熊野へと入ることになる。しかし、急峻な山が海岸線まで迫るため、苦難の道そして祈りの道はまだまだ続く。



現在



昔



熊野古道からのてがみ

39 通目



九鬼峠の道標

ら、その翌日Hさん兄弟がモチ米を背負って八鬼山を越えて運んで来てくださった。吃驚するやら有り難いやらもう感謝感激であった。お陰様で良いお正月を迎える事ができた。

それから年を経て荒神様のお祭りの日には何度もお参りに行ったが、尾鷲側へはもう降りる事はなかった。今、峠の周辺はどうなっているだろう。残念だが84歳の私はもう登る事もない。熊野古道である八鬼山道はいつまでも皆に愛される良い思い出につなげていく癒しの道であってほしい。



山本 ななさん (尾鷲市)

次は尾鷲市の小倉康司さん

花尻薫からの季節のたより No.39

オニユリは人里近い山や野に自生する多年草ですが、おそらく中国の原産で、栽培品が野生化したものだろうと言われています。花の時期は7月~8月の盛夏の頃にかけて咲きます。



私が、熊野古道センターのニュースレター16通目の「種の多様性と熊野古道」に記載しました「ササユリ」ほど有名ではありません。ササユリは香りも良く、最近では自生地で保護されています。オニユリの漢名は、花の色を赤鬼に見立てたもので「鬼百合」とも書きます。高さは約1m~1.5mで、葉を多数つけます。花の色は橙赤色で、下向きの花を2~10個ほどつけます。



朱芽 (ムカゴ)

たねはつけず、葉のもとにつく、朱芽といわれる黒紫色のムカゴをつけ、このムカゴが落下して増える仕組みになっています。

花は美しいが、たねをつくらぬ植物には、オニユリ・チュリップ・スイセン・ナツズイセン・ヒガンバナ・ダンチク(竹の仲間)・ジンチョウゲなどがあります。地下のユリの根は「りんけい」とよばれ、食用になります。

日本に分布しているオニユリは観賞用としてよりも、食用として伝来したのではないかとされています。本州・四国・九州の平地に分布しています。

オニユリ ユリ科

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング 営業時間: 11:00~14:00 料金: 中学生以上...1,200円 小学生以上...700円 4歳~小学生...300円 4歳未満...無料 60歳以上...1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

お風呂がありがたい、カフェでゆったり♪ 営業時間: 9:00~17:00 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車で越しの方は... 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ●電車でお越しの方は... JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車

熊野古道センターニュースレター 熊野古道センターからのてがみ

●発行日: 2016年6月10日(季刊) ●編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク) ●編集担当: 東 ●連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/ ●開館時間: 午前9時~午後5時 ●入場料: 無料 ●休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ 熊野古道伊勢路の以下の2つの峠道が通行止めとなっております。 「サボ鼻道」(紀北町紀伊長島区古里地区) 「横垣峠」(南牟婁郡御浜町阪本地区~神本地区) ※平成28年6月10日現在 6000160610MH

旬の企画展  
Event Info.

企画展  
1

「熊野灘の魚と海釣りの魅力」

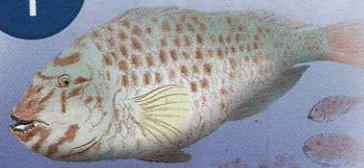
熊野灘沿岸地域で見られる魚について生態や習性を紹介するとともに、沿岸一帯でおこなわれている海釣りの魅力や手法、道具類について展示紹介します。

会 期:7月9日(土)~9月4日(日)  
時 間:午前9時~午後5時  
入 場 料:無料  
場 所:企画展示室

付属事業 「親子で釣ろう!キス釣り大会」

熊野古道センターの前に広がる尾鷲湾を舞台に、キスの投げ釣り大会を開催します。日本各地の砂地に生息し、投げ釣りの対象魚として親しまれているシロギスを釣ります。

日 時:7月17日(日) 午前8時~12時  
場 所:黒の浜(尾鷲市向井) 雨天の場合は7/18(月・祝)  
参加料:1,000円(保険料・エサ代込)  
定 員:10組・20名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場 所:黒の浜(尾鷲市向井)  
対 象:小学生とその親  
受 付:6月17日(金)~7月10日(日)



特別展示室  
企画展 森 武史 熊野古道写真展  
~Originating Trail こころの道~

紀伊山地の深い山々や熊野古道の自然を撮影している三重県在住のプロカメラマン、森武史氏の作品展を開催します。森氏のライフワークの作品「熊野修験」、伊勢神宮の森を作品とした「神宮の森」を、紀伊半島の聖地と熊野古道を撮影した2014Canonカレンダー作品「こころの道」を中心に、半期で入替えて展示します。

会 期:6月18日(土)~8月28日(日)  
午前10時~午後5時 ※会期中無休  
入 場 料:無料 | 場 所:特別展示室

※7月16日(土)午後1時30分よりギャラリートークを開催します。



特別展示室  
企画展 尾鷲市曾根郷土資料館 館蔵品展

郷土の歴史と暮らしを伝える尾鷲市曾根郷土資料館で所蔵されている資料を展示します。

会 期:9月3日(土)~10月9日(日)  
時 間:午前10時~午後5時  
入 場 料:無料  
場 所:特別展示室



ロビー展 「まちかど博物館展」

東紀州の文化や風土から生まれ、地域が育んだ「まちかど博物館」を紹介し、まちかど博物館に展示してある個人の貴重なコレクションや優れた手仕事などの品々を一室に展示します。

会 期:8月27日(土)~9月4日(日)  
時 間:午前9時~午後5時  
入 場 料:無料  
場 所:交流棟



その他  
Guide&Tips

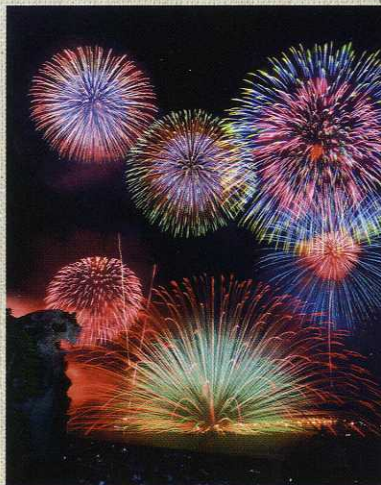
三重県立熊野古道センター10周年記念  
熊野古道フォトコンテスト 作品募集

三重県立熊野古道センター開館10周年を記念し、熊野古道フォトコンテストを開催します。東紀州にある熊野古道伊勢路や世界遺産登録史跡の魅力表現した自慢の作品をご応募ください!

- 応募締切:平成28年12月1日(木) 郵送の場合、当日消印有効。熊野古道センターへの持参の場合、17時まで
- 応募テーマ:東紀州にある熊野古道伊勢路、または世界遺産登録史跡の魅力表現した写真作品
- サ イ ズ:モノクロ・カラー共、A4・B4・四切・ワイド四切・六切・ワイド六切
- 審査委員:竹内敏信氏(社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)
- 賞 :最優秀賞 1点 賞金10万円  
優 秀 賞 3点 賞金 3万円  
入 選 多数 記念品
- 応募先・問合せ:三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係  
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
HP:<http://www.kumanokodocenter.com>



応募方法、その他詳細は三重県立熊野古道センターのホームページをご覧ください。



第9回熊野古道フォトコンテスト最優秀賞「獅子岩に花咲く」南育寺さん(熊野市)

くまの・みち叢書9  
「熊野古道のシダ」

発売中!

温暖多雨な気候に恵まれた東紀州地域では、270余种に及ぶ種類のシダ植物が確認されています。これらのうち、熊野古道沿いでみられる62種類のシダを紹介した冊子が完成しました。花を咲かせ葉をつける種子植物と違い、シダはどれを見ても同じように見えますが、一つ一つじっくり見ていると、古道沿いにもいろいろなシダが生えていることに気づきます。古道歩きにぜひ持って行きたいポケットサイズの一冊です。



お買い求めは当センターカウンターまで 500円(税別)

和歌山県  
世界遺産  
センター  
からのお知らせ

山々の新緑が美しい季節になりました。熊野古道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。また、4月5日には下記のように多数の団体の皆様に道普請にご参加いただきました。

世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。次回の世界遺産セミナーでは、「紀伊山地の霊場への参詣道」について講演を行う予定になっています。  
※参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお願いいたします。



文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいております。

平成28年度 第2回世界遺産セミナー(予定)

第2回 平成28年 7/31(日) 13:00~15:00  
内容 「紀伊山地の霊場への参詣道」について  
講師 藤井 幸司氏(和歌山県教育委員会文化理解課 主任)  
場所 熊野本宮館 多目的ホール (和歌山県田辺市本宮町本宮100-1) 参加費 無料

平成28年4-5月の道普請参加団体(敬称略)  
株式会社ケネスト・日本電通株式会社・株式会社ユニー・南海電気鉄道株式会社・三菱東京UFJフィナンシャル・グループ・ファミツアー・さわみ財団・KDDI・紀伊民報・三菱電機冷暖システム製作所・JATA

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

夏休み思い出づくり体験教室

8/12(金) 思い出手形のピンキ時計作り

時間 ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
参加料 1,000円  
定員 30名(要申込・応募多数の場合抽選)  
講師 熊野古道センター職員  
受付 7/12(火)~8/5(金)

8/13(土) 切妻屋根の鳥の巣箱作り

時間 ①午前10時~正午 ②午後1時30分~3時30分  
参加料 500円  
定員 30名(要申込・応募多数の場合抽選)  
講師 熊野古道センター職員  
受付 7/12(火)~8/5(金)

8/14(日) 動物立体パズル他

時間 午後1時~3時  
参加料 600円~  
定員 約30名(材料がなくなり次第終了)  
講師 養虫(切り絵作家)  
受付 当日受付

期間中、芝生広場にてミニ三機開車の乗車体験を開催します。  
時間 ①午前10時~正午 ②午後1時~3時 ※当日整理券を配布 ※内容は変更になる場合があります。

体験学習

6/26(日) 伝統体験「市木もめんのカラージュと香り袋作り」

明治から続く御浜町の伝統産業「市木木綿」を使ったものづくり教室です。木綿のはぎれを組み合わせで作るカラージュはお部屋のインテリアに。アロマの香りを詰め込んだ香り袋は枕元に置いたり、バッグに入れて楽しめます。  
時間:午前10時~正午  
参加料:2,500円  
定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場 所:和室  
講 師:塩崎哲史氏(デザイナー)、向井美和氏(アロマトロジー)  
受 付:~6月19日(日)

東紀州の四季を味わう料理教室  
①7/10(日) 「夏バテ対策!スタミナ豚肉料理」  
②9/4(日) 「食欲の秋!絶品紀和牛料理」

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。季節に合ったレシピを紹介します。調理のコツや裏ワザだけでなく、東紀州の食材について学べるのもこの教室の魅力です。楽しく学んだ後は、みんなで美味しくいただきます。  
時間:午前10時~午後1時  
参加料:2,000円  
定員:24名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場 所:体験学習室  
講 師:村林新吾氏(三重県立相可高校食料調理科教諭)  
受 付:①6月10日(金)~7月3日(日) ②8月4日(木)~8月28日(日)

9/24(土) 自然学校「熊野の植物を学ぶ~シダ植物編」

熊野地域に自生する植物を総合的に学ぶ講座です。第2回目は熊野市大又川源流部に自生するシダ植物について、その分類や生態を学びます。  
時間:9月24日(土) 午前10時~正午 雨天の場合は9/25(日)に順延  
参加料:500円  
定員:15名(要申込・応募多数の場合抽選)  
場 所:熊野市大又川源流部(予定)  
講 師:大洞浩一氏(日本シダ学会会員、日本自然保護協会会員)  
受 付:8月24日(水)~9月17日(土)

交流イベント

10/19(水) ワンコインコンサート  
秋の風が届ける癒しの響き

時間 午前11時30分~午後12時30分 定員 200名  
入 場 料 500円 (要整理券・先着順)  
場 所 交流棟大ホール  
出 演 村治奏一氏  
整理券配布は9/1(木)より 午前9時から  
楽しいトークを交えながら短めの曲で、1時間を気楽に過ごしていただくカジュアルコンサート。お友達を誘って、ランチタイム前のひと時を楽しんでみては? ©Satoshi Ono

日曜わくわくものづくり体験

熊野古道センターでは、毎週日曜日、東紀州で活躍中の職人や工芸家を講師に迎えて「日曜わくわくものづくり体験」を開催しています。事前予約不要で、小さいお子様から大人まで気軽に楽しんでいただける体験教室です。  
時間:午後1時~3時受付  
参加費:100円~(※体験によって異なります)  
場 所:交流棟ロビー  
講 師:大形 弥生氏、中井 智章氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、熊野古道センター職員



〈お申込み・お問い合わせは、お電話が直接熊野古道センターへどうぞ! TEL:0597-25-2666〉